

# 学校施設の整備について

平成 28 年 11 月 4 日  
北九州市教育委員会

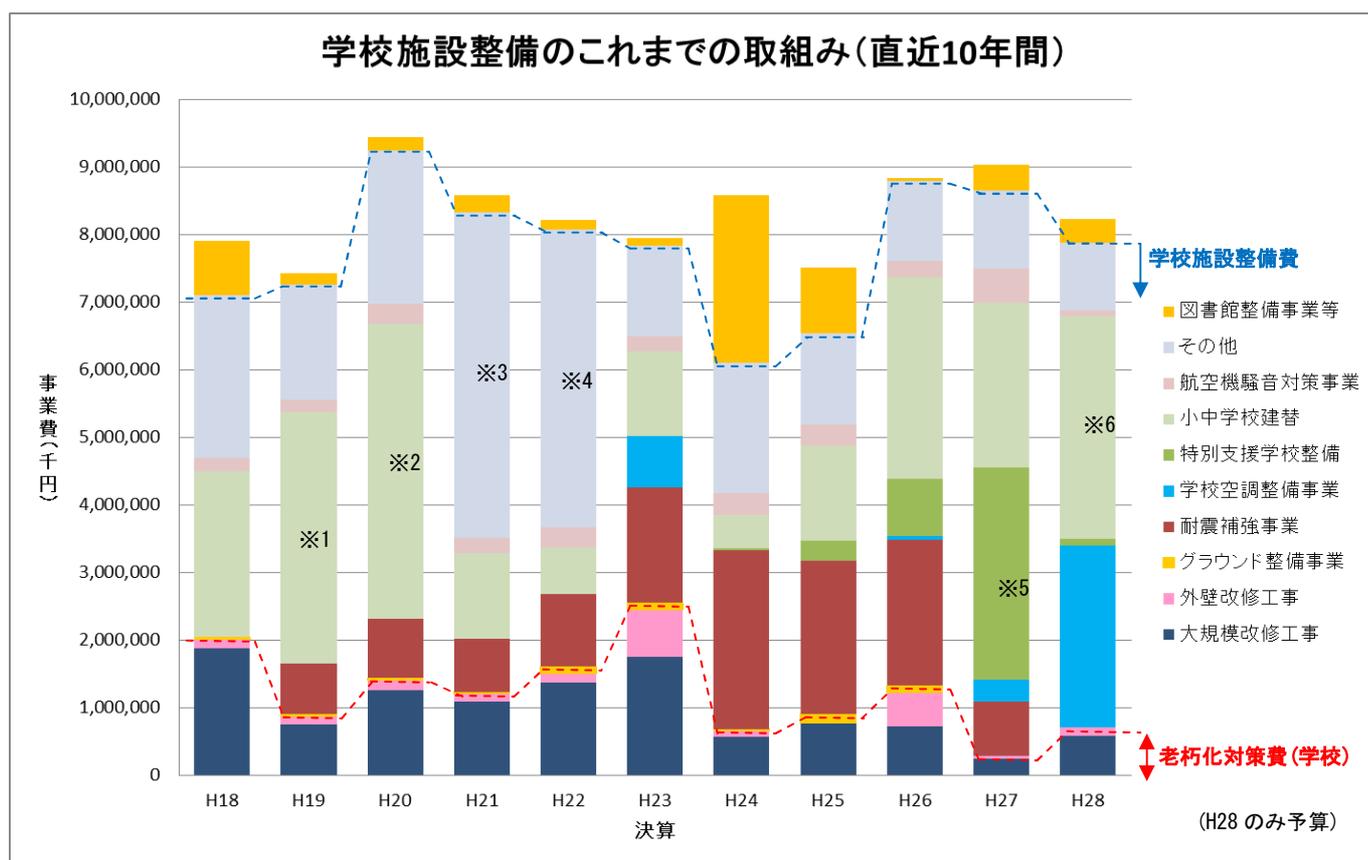
## 学校施設の整備について

### ●これまでの取組み

学校施設の整備については、平成 19 年度から、社会的要請の強い耐震化を推進するために「耐震補強事業」を進めてきました。その結果、平成 27 年度末までに、すべての学校施設の耐震化を完了しました。

さらに、教室の暑さ対策として、学校・保護者・市議会各会派から強い要望がなされたことなどから、平成 26 年から普通教室への「エアコン設置」(学校空調整備事業)を進めており、本年 6 月には全中学校への設置が完了し、平成 30 年度までに全小学校への設置完了を目指しています。

その時々での優先的行政課題に取り組み、児童・生徒の安全、教育環境の向上に努めています。



※1 深町小学校、清水小学校、牧山小学校、黒崎中央小学校

※2 思永中学校、黒崎中央小学校、大谷小学校、井堀小学校

※3 太陽光発電、地デジ対応、給食室関連、さわやかトイレ

※4 太陽光発電、給食室関連、さわやかトイレ

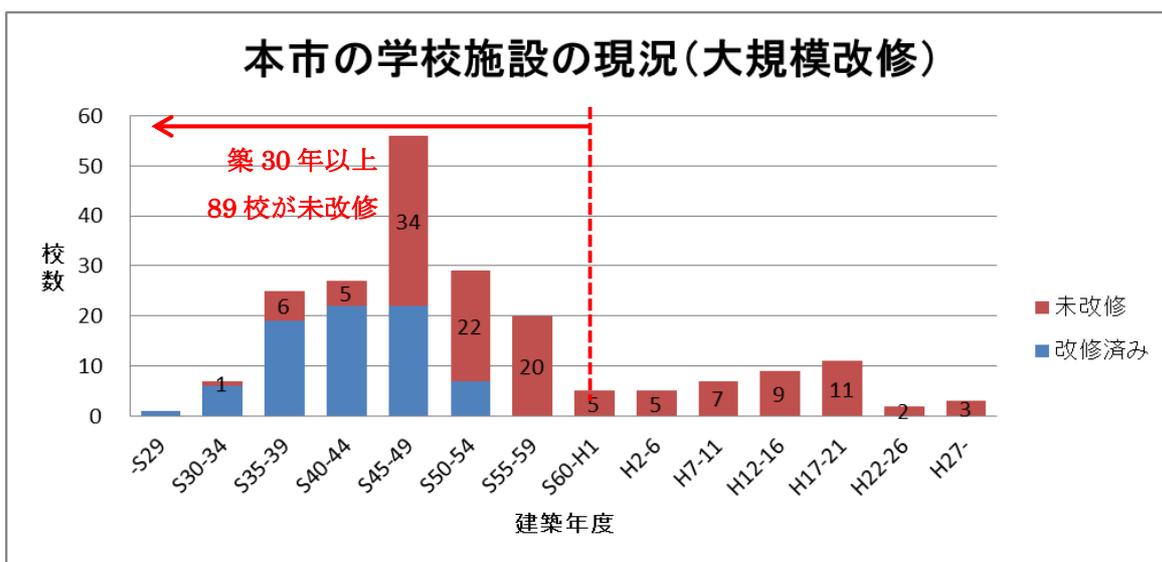
※5 門司総合特別支援学校、小倉総合特別支援学校

※6 ひびきの小学校

●現状と課題

学校施設においては、施設管理のあり方として、屋上・ベランダ防水及び外壁改修を15年毎に行い、築30年で大規模改修を実施することが、予防保全の観点から望ましいと考えています。

しかしながら、現状は十分な対応ができていないとは言えず、雨漏り、外壁落下、給排水管水漏れなどが発生している状況です。



屋上・ベランダ防水 (15年毎が望ましい)



外壁改修 (15年毎が望ましい)

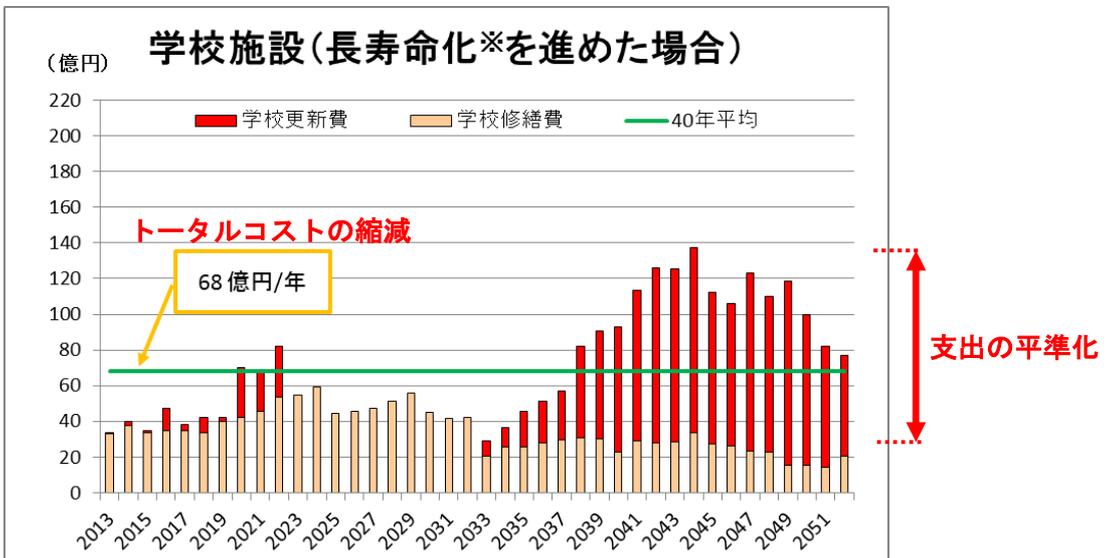
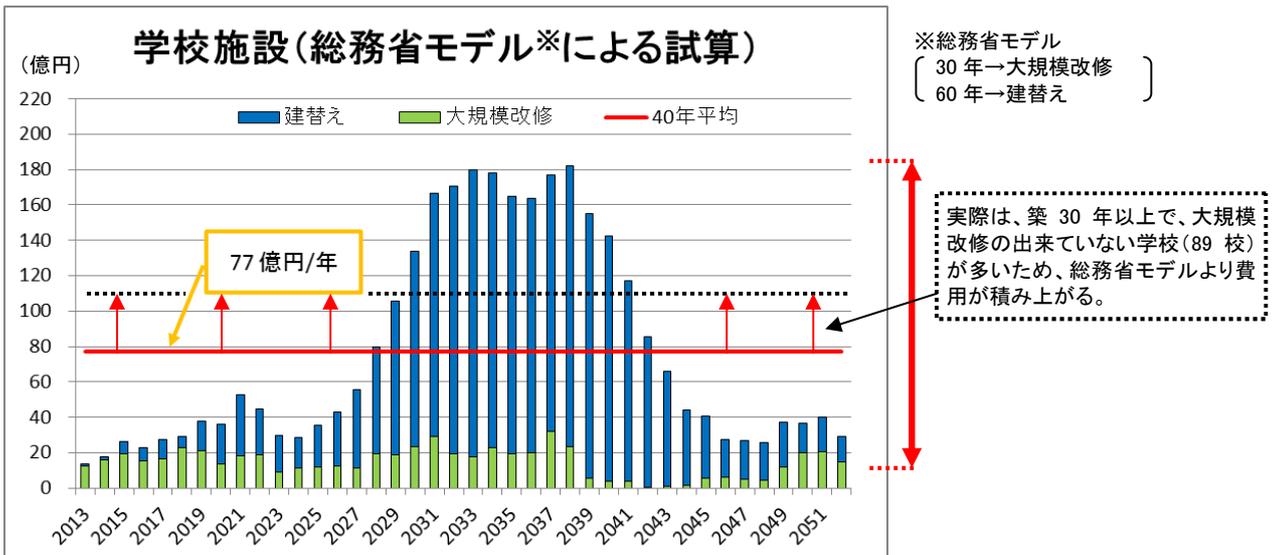
●今後の方向性

本市の学校施設は、212校（園）あり、予防保全を前提とした施設管理を行うためには、計算上、

- ① 15年毎に外壁改修及び屋上・ベランダ防水を実施・・・年 14校
  - ② 築30年で大規模改修を実施・・・・・・・・・・・・年 7校
- となります。

また、昭和40年代から50年代にかけて、多くの学校施設を整備してきており、今後、これらの施設が更新時期を迎えるため、施設整備に要する費用が急激に増大することが見込まれます。

このことを踏まえ、耐用年数が60年とされている鉄筋コンクリート構造の学校施設について、長寿命化が図れるものは最大80年まで延ばせるよう、計画的に改修等を行うことで、トータルコストの縮減及び支出の平準化を図っていきます。



(北九州市公共施設マネジメント実行計画 (P.71-72) より、学校部分を抜粋)